

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 22 号

平成31年 1月28日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

年度末を目標達成で締めくくるために 学習活動・奉仕の心は向上、習慣や規範はやや低下

第1学期の学校経営の自己評価の結果をもとに、次の5点を第2学期の実践努力事項として取り組みました。

第2学期の実践努力事項

- 1 各教科で求められる「見方・考え方」を明確にした授業を実践する。(66%：期待値 85%)
- 2 家庭学習の習慣化が図られるよう、授業に活かす課題の提示を工夫する。(65%：期待値 90%)
- 3 いじめ防止のための「わたしたちの約束」を主体的に振り返る機会を設定する。(76%：期待値 85%)
- 4 学級活動や生徒会活動を活発化させ、自治能力を高めるような指導を行う。(79%：期待値 85%)
- 5 進んで体験活動やボランティア活動に参加するよう指導し、奉仕の心を育てる。(68%：期待値 80%)

※()内の%の数字は、「たいへんよい」と「よい」の合計の割合。以下同じ。

本年度は、教育目標の「知性」「友愛」「健康」の3側面に関して5項目ずつ計15の評価項目を設け、それぞれに「期待値」として数値目標を掲げました。ご覧のとおり、期待値との差が大きかった項目を第2学期の実践努力事項として、絞り込んで取り組みを強化したのです。第2学期末の教員による自己評価では、番号順に「1」66%⇒82%、「2」65%⇒73%、「3」67%⇒100%、「4」79%⇒88%、「5」68%⇒80%となり、「2」以外はおおむね期待値に十分迫ることができました。

一方で、第1学期よりも評価が下がってしまったものもあり、生徒の評価や保護者の皆様にご協力いただいたアンケートの結果も参考にして、第3学期は次の5点に努力してまいります。

第3学期の実践努力事項

- 1 獲得させたい資質・能力を明らかにして、目標(めあて)を設定する。(87%：期待値 90%)
- 2 家庭学習の習慣化が図られるよう、授業に活かす課題の提示を工夫する。(73%：期待値 90%)
- 3 服装や時間などルールを守って行動できる規範意識を高めさせる。(84%：期待値 90%)
- 4 道徳の授業を要として正義感や規範意識を高める指導を充実させる。(79%：期待値 80%)
- 5 進んで体験活動やボランティア活動に参加するよう指導し、奉仕の心を育てる。(80%：期待値 80%)



組織マネジメントでは、数値目標を掲げることで最後のひと頑張りが期待できると言われる。5項目とも、もう一息のところまで来ていますので、年度末の短い期間ではありながら、もうひと頑張りを教職員に促しているところです。なお、補足すると、「5」は期待値に達していますが、保護者アンケートで評価が低かったのを受けて掲げています。また、次年度の教育計画でもボランティア活動の在り方について検討に入りました。

保護者アンケートに記述いただいたご要望やご意見に関して、別途回答し、学校ホームページでもご紹介いたします。その前に取り急ぎ、以下3点についてご理解をお願いいたします。

- 1学期、2学期と長期休暇の教員が相次ぎ、現在も2名の教員の職務復帰がかなっていません。生徒にも保護者の皆様にも大きな不安を与えていることに関して心よりお詫び申し上げます。関係教科担当が一丸となって授業の遅れなどに対応しているところです。
- 通学カバンが重すぎるというご意見が多数ありました。予習・復習が必要な教科については持ち帰るよう指導するということが原則になってきたのですが、内部で再検討いたします。
- きめ細かないじめ対応のためいじめ対策委員会を機能させ、速やかな情報の共有と短期間での解決、保護者との連携など、鋭意努力しているところです。今後も、高い意識で取り組んでいきます。



1月11日(金)、図書館機能と子育てセンター機能などを兼ね備えた市民交流センター“tette”がオープンしました。そのセレモニーに、本校合唱部が歌声を披露し、花を添えました。



全国こども音楽コンクール2位

また、東北大会を通り抜け全国大会に進出していた合唱部は、1月20日(日)の録音審査の結果、第2位入賞を果たしました。

お詫びと訂正

本紙第21号で、東洋大学駅伝部監督のお名前を「酒井俊之」と表記しましたが、「酒井俊幸」の誤りでした。お詫びして訂正します。

ことばの力① 「遠き目標を慮れば、必ず近き課題あらん」

私の手帳の平成20年第35週(8/25から)のページの欄外にこの言葉のメモがありました。(夢に出てきた言葉)と添え書きがあるので、夢の中の自分が思い浮かべた言葉か、夢の中の登場人物が語った言葉なのでしょう。



遠い将来の目標について深く考えるならば、必ず今取りかからなければならぬ課題があるはずだ(見つかるはずだ)。輝く星のように、遠くて手の届きそうにない目標ほど心を引きつけられるものなのかも知れません。3年先のことか、5年先、10年先のことか、期間は異なるとも、その目標達成のために乗り越えるべき課題は近くに必ずある。課題を明らかにして一つ一つ超えていくことで、目標は叶えることができると、夢の中で自分に言い聞かせたのかな。文語文になっているところに力みを感じられて、今となっては面映ゆく感じられます。

3年生は私立高校の受験結果が出て、次は県立高校のI期選抜に向かう時期です。合格を勝ち取った後は、「遠き目標」と「近き課題」を再確認して欲しいと思います。1, 2年生は、1年後、2年後に進路希望を実現できるよう、今解決すべきことをしっかり見据えて学校生活の充実を図って欲しいと思います。

新春書道展席書大会で各学年から特別賞

須賀川市子ども会育成連絡協議会の新春書道展席書大会が、1月5日(土)、須賀川アリーナで開催され、1~3年までの各学年で特別賞の受賞することができました。皆、会場に行った私に気づかないほど集中して作品を制作していました。

子ども会育成協議会長賞 佐々木望愛①

明るいまちづくりの会連絡協議会長賞

室井 椋②

岩瀬書芸連盟会長賞

坂本 夏菜③

(以上、特別賞)

推薦 佐久間美奈①

金賞 阿部すみれ①

岡部 佑音①

佐久間唯月①

諸根 そら①

山崎 彩優①

鈴木 凜②

中瀧明真音②

齋藤 真衣②

岡部 未侑③

野中 美月③

柳沼 亜樹③

(注) ○に数字は学年です。

